

長野県諏訪郡原村「原村・JOMO あゆみの森」における森林ボランティアの実施について

1. 当社(本社:東京都港区虎ノ門二丁目、社長:高萩光紀)は、CSR活動強化の一環として、本年4月に長野県諏訪郡原村(村長:清水 澄)との間で「森林(もり)の里親」契約を締結し、本年度から原村の森林整備に協力しております。このたび、10月15日と16日の両日、「原村・JOMO あゆみの森」および近隣村有林において、社員らが参加して、地域住民と協働で間伐作業等の森林ボランティアを実施しました。
2. 長野県では、森林の健全な育成を図るため、2003年から「森林の里親促進事業」を推進しています。これは、長野県の仲介により、環境保全活動に取り組む企業と森林を保有する市町村が連携して森林整備に取り組むものです。企業は、森林の里親として、二酸化炭素の吸収源となる森林整備のための資金を提供するほか、社員のボランティア等により整備活動も行うこととなります。
3. 当社は、原村との「森林の里親」契約に基づき、5年間にわたり年額50万円を原村に寄付し、原村では、寄付金を活用しながら森林の整備を実施しております。さらに当社は、社員ボランティアを募り、地域住民と協働で間伐作業等に参加しております。
4. 今回は、ボランティアとして当社グループの役員や社員およびその家族約40名が参加し、間伐等の森林作業を実施するとともに、地元の方々との交流を通じて、森林の大切さや農山村の生活の知恵についての理解を深めました。概要は次のとおりです。
 - (1)開催日:2005年10月15日(土)~16日(日)
 - (2)場所:長野県諏訪郡原村
 - (3)内容:森林作業の安全・技術指導・間伐・枝打ち等森林整備作業・地域の方々との交流会(自然散策、環境学習等)
 - (4)参加人員:当社役員社員およびその家族 約40名ほか

● 【添付資料】

 [森林ボランティアの様様](#) (PDF:88KB)

以上